

第2回湖南省図書館基本計画策定委員会 次第

日時 令和8年(2026年)8月19日 午後1時30分～

場所 湖南省甲西図書館2階 視聴覚室

1. 開会・あいさつ

2. 話題提供

3. 議事

(1)湖南省図書館基本計画(素案)について

(2)体系図について

(3)アンケート案について

(4)ワークショップについて

(5)視察先候補について

4. その他

5. 閉会

配布資料 ・次第
・諮問書
・ワークショップについて
・視察候補について

湖南省図書館基本計画（素案） 第2回策定委員会用資料

令和8年 8 月19日

湖南省教育部 図書館

第1回策定委員会の主なご意見

1. 基本方針・目標設定について	基本方針、基本目標、重点目標の関係性がやや抽象的で難解。より具体的にすべき。
	「2館を1館にする」という文言に懸念。複数施設の機能統合は利用者に影響があるため慎重な議論が必要。
	基本理念の文章表現の見直し。「暮らしの中に図書館を」のイメージが具体的に伝わっていない。
	「公共施設の再編」や「公民館・図書館一体化」についての説明と理解がまだ不十分。
2. ICT利用とデジタル化対応	重点目標として「ほっとできる居場所」の意味合いがあいまいで、具体的に何を指すのか明示すべき。
	ICT活用について「どう使うのか」「どんなサービスを提供するのか」具体例が不足。
	タブレット貸出やオンラインサービスなどデジタルサービスの拡充が必要と認識。
	高齢者や子ども向けのICT支援や利用促進策について具体的提案を求める声。
3. 利用者層・世代別支援・利用環境	子どもから高齢者まで多世代が利用しやすい環境づくりが重要。
	学校連携や子ども向けのサービス・プログラム継続と充実を求める意見あり。
	若年層の利用促進には居場所づくりの工夫も必要。
	バリアフリーや多様な利用者ニーズに即したサービス展開が求められる。
4. 市民参加・意見反映	市民アンケート、ワークショップ結果を反映し、計画策定に活かしていくことが求められる。
	市民が積極的に参加しやすい仕組みや情報提供の必要性。
	職員や市民の意見を取り入れた運営体制の透明化を推進してほしい。
5. 施設整備・運営体制	施設のあり方について、単なる集約ではなく、「地域に根ざした利便性の高い施設づくり」が求められる。
	公民館や文化センターとの連携強化や役割分担の検討が必要。
	職員の専門性向上や研修の充実も重要課題。
6. 今後の議論・スケジュール	議論を深めていくために、スケジュールや討議の進め方の工夫が必要。
	アウトリーチ型のワークショップやアンケート調査の活用を期待。
	委員同士や市民との意見交換を活発化させ、あるべき図書館像を共有していきたい。

第2回策定委員会で協議・ご意見いただきたいこと

基本理念

(GRAND VISION) の
考え方について

基本方針（三つの柱）
について

5つの目標について

第5章
：基本施策
＝主な取組みについて

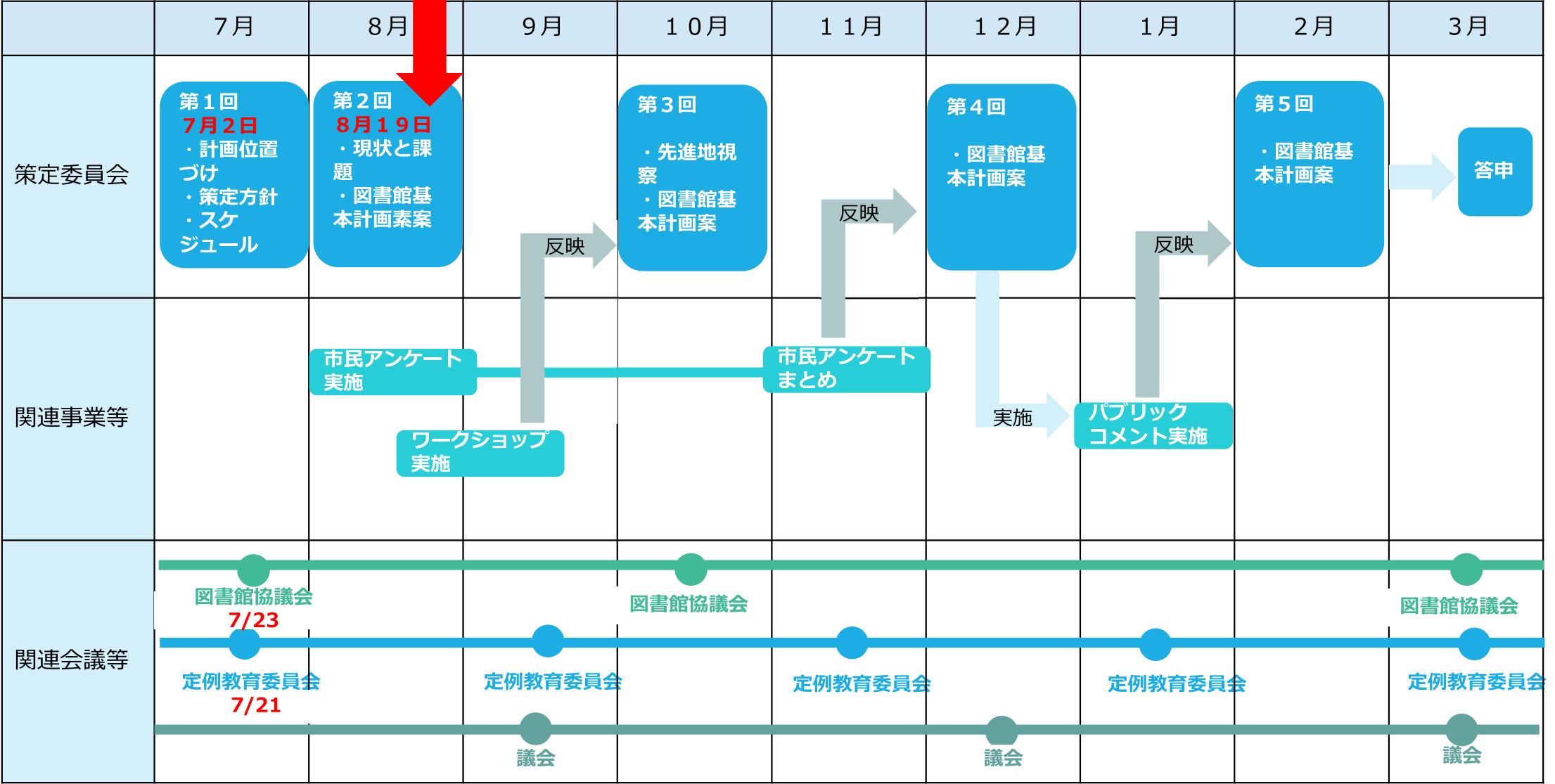
数値目標について

湖南省らしい図書館に
ついて

市民アンケートについ
て

視察先について

スケジュールについて



1.基本理念（GRAND VISION）

第1回の案

暮らしの中に図書館を
～知と交流の拠点、
誰もが集うみんなの図書館～

図書館を「本を読む場所」から「人と知と文化が
交わる場」へと進化させ、本を通じて集い

世代や関心を超えて集えるコミュニティの拠点
とします。

日常の暮らしの一部として、誰もが自然に足を運べる
温かな空間を目指します。

修正

修正案

暮らしの中に図書館を
～「人と知と文化が交わる場」へ～
誰もが集うみんなの図書館

「本に出会う場所」を「交流と発信の場」へとさらに拡げて、
世代や背景を越えて集い、新たな情報に会える場とします。

日常の暮らしの一部として、一人ひとりの
ウェルビーイング*を叶えるため、誰もが自然に足を運べる
空間を目指します。

*ウェルビーイング：
身体的・精神的・社会的に良好な状態を
意味し、快適で豊かな暮らしのこと

基本理念（GRAND VISION）の考え方

【基本理念を検討した背景】

- 湖南省立図書館は、これまで資料の収集・保存・提供をはじめ、読書活動の推進や学習機会の提供など、多様な図書館サービスを展開してきました。一方で、人口減少や少子高齢化、情報環境の変化など、図書館を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。また、国や県の動向においても、多様化する市民ニーズや地域課題に対応する「交流と学びの場（サードプレイス*）」としての役割も求められています。このような状況を踏まえ、本計画ではこれからの湖南省立図書館に求められる役割について整理し、基本理念と将来像を検討しています。

【図書館の基本的な役割】

- 本計画は、図書館の基本的な役割を変更するものではありません。資料の収集・保存・提供、読書活動の推進、学習支援など、図書館がこれまでに果たしてきた役割は、今後も図書館サービスの揺るぎない基盤となります。その上で、社会の変化や市民ニーズの多様化に対応しながら、図書館サービスの質を高めていくことを目指しています。

【「人と知と文化が交わる場」に込めた考え方】

- 本計画では、図書館を「本に出会う場所」から「人と知と文化が交わる場」へと広げることを目指す姿として掲げています。これは、読書や学びを支えるという図書館本来の役割を基盤としながら、資料や情報、文化を通じて人がつながり、新たな学びや活動、価値の発信につながる図書館を目指す考え方を表したものです。

*サードプレイス：
家庭や職場・学校とは異なる、誰もが気軽に集い、多様な世代の学びや交流を生み出す居心地の良い第三の場所。

基本理念（GRAND VISION）の考え方

【基本理念から基本方針への展開】

- この基本理念を具体的な政策へと着実に落とし込むため、本計画では以下の3つの基本方針を柱に施策を推進します。
 - ①知識と文化の情報拠点づくり
 - ②癒しや育みの居場所づくり
 - ③交流と発信の創造空間づくり

【今後の検討について】

- 基本理念や将来像は、本計画策定の出発点として示したものです。今後は、策定委員会での議論をはじめ、今後実施予定の市民アンケートやワークショップなどでいただく意見も踏まえながら、湖南省立図書館にふさわしい基本理念として整理・検討を進めていきます。

2. 基本方針（三つの柱）



知識と文化の情報拠点

づくり

情報を得るためにあらゆる世代の人が
利用しやすい図書館

多様な情報資源の整備と提供、レファレンスサービスや学習支援の充実を図り、市民の誰もがいつでもアクセスできる利用環境を実現します。



癒しや育みの居場所

づくり

誰もが安心して
心地よく過ごせる図書館

こどもたちが安心して過ごせる居場所づくりや読書環境を整えるとともに、誰もが心身ともにリラックスして快適に過ごせる空間を提供します。



交流と発信の創造空間

づくり

様々な個性が出会い、集い、
ともに創り上げていく図書館

図書館を拠点に、市民参加型イベントやボランティア活動を拡充します。多言語資料の充実や多文化理解の促進を通じてお互いの多様性を尊重し、地域文化資源の発信や関係機関との協働を推進します。

第1章：計画策定の基本方針

✓ 5つの基本目標

●情報と文化の拠点となる図書館

●市民の学びを支える図書館

●こどもと未来を育てる図書館

●市民協働で運営する図書館

●ほっとできる居場所となる図書館

修正案

✓ 5つの基本目標

1つ目の柱：
知識と文化の情報拠点
づくり

修正

2つ目の柱：
癒しや育みの居場所
づくり

3つ目の柱：
交流と発信の創造空間
づくり

①地域の情報・文化の 拠点となる図書館の形 成

・多様な情報資源の整備と提供を通じて人と本を繋ぎ、誰もが気軽に知識や文化に触れられる地域の拠点を目指します。また、身近な地域拠点施設等も視野に入れ、館外における読書環境の充実を図ります。

②市民の学びを支える 図書館サービスの充実

・最新のデジタル技術や学習環境を整え、専門性を持つ職員による質の高いレファレンスや学習支援を提供します。市民一人ひとりの知的好奇心に応え、主体的な学びを多角的に支えるサービスを充実させます。

③こどもの読書と豊かな育ちを支えるサービスの展開

・こどもたちが本に親しむ機会や読書環境を充実させるとともに、豊かな感性や創造力を育むための取組みを推進し、未来を担う世代の成長を支えます。

④誰もが利用しやすい 快適な環境づくり

・利用者の声を丁寧に反映しながら、高齢者や障がい者をはじめ誰もが利用しやすいバリアフリー対応や温かいサポートを充実させ、すべての人にとって快適で親しみやすい施設環境を整えます。

⑤市民協働による価値 の共創と多文化共生の 推進

・市民や多様な団体との協働を深めながら、地域の文化資源を広く発信します。外国籍住民をはじめとする多様な人々が共に暮らす地域特性を活かし、お互いの多様性への理解を深める取組みを共に展開します。

第2章：図書館を取り巻く現状と課題

- 日本全国の図書館を取り巻く現状 ～読む×集う×学ぶ＝新たな地域共創へ～

図書館が拓く未来の学びと地域社会（報告書）

令和8年3月

図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議

- 滋賀県の図書館を取り巻く状況

これからの滋賀県立図書館のあり方

平成30年3月

滋賀県教育委員会

日本全国の図書館を取り巻く現状 ～読む×集う×学ぶ＝新たな地域共創へ～図書館が拓く未来の学びと地域社会

1. 人口減少社会における図書館の地域的機能と役割

- 地方の人口減少と高齢化により、図書館の利用者数減少が懸念されている。
- 図書館は学校や地域の「ハブ」・「中心」として、多様な世代の学びや交流の場を提供する役割が期待されている。
- 地域課題解決や住民の「好き」や「得意」を育む拠点としての重要性が高まっている。

2. デジタル化の推進とユニバーサルアクセスの確保

- 国のICT推進政策により、図書館サービスのデジタル化（電子書籍やデジタルアーカイブ導入）が進む。
- 高齢者や障害者への読書バリアフリー対応、視覚障害者支援の充実が求められている。
- ユニバーサルアクセスを実現し、すべての人が利用できるサービス提供が必須課題となっている。

3. 読む×集う×学ぶ＝サードプレイスとしての多機能化

- 図書館は「読む」だけでなく、学習や交流の場として「集う」「学ぶ」を融合する場へ進化中。
- ボランティア活動や多様なイベントによる地域共創の場としての機能強化が図られている。
- グループ学習、家庭外学習支援など、地域コミュニティのサードプレイスとしての役割が期待されている。

4. 国の支援と政策による図書館体制の強化

- 図書館・学校図書館運営のための有識者会議を通じて政策の見直しが行われている。
- 専門職の人材育成、機材・設備の整備、運営基盤の強化に向けた計画策定が進む。
- 地方公共団体における図書館支援策や連携促進が国策として推進されている。

5. 地域連携と共創による持続可能な図書館運営

- 地方公共団体、教育機関、NPO、企業等との連携で地域の課題解決を図る新たな取組みが拡大。
- 多様な世代が集い意見交換する「地域の放課後」や「学びの場」としての役割を強化。
- 障害者支援、高齢者福祉、子ども支援など、多面的な地域支援を包括的に実現することが求められる。

滋賀県の図書館を取り巻く状況 ～これからの滋賀県立図書館のあり方～

1. 図書館の役割と県民ニーズの変化

- 図書館は「知りたい」「学びたい」という全ての県民のニーズに応える情報提供の場としての役割を担っている。
- 自ら学び、考え、行動する「知の拠点」として、地域社会の活性化や知識普及を目指す。
- 少子高齢化や地域の多様な課題に対応するため、子どもの読書活動推進や幅広い世代への情報支援を強化。

2. 滋賀県の図書館の現状と課題

- 県立図書館と市町立図書館が連携してサービスを提供しているが、資料貸し出しやサービスの質に地域差がある。
- 電子書籍やデジタル資料の普及、ICT活用の遅れ、利用者の減少、地域の過疎化などの課題が存在。
- 図書館サービスの質向上や運営の効率化、専門的な情報支援の強化が必要。

3. 図書館ネットワークと情報提供体制の整備

- 県内全図書館の連携強化を図り、資料・情報の共有とレファレンスサービスの充実を目指している。
- 市町立図書館職員との情報交換や共同調査、貸出協力の促進、電子書籍・データベースの利用拡大を推進。
- 新しい課題解決に向けた研究会の開催や専門職員の育成にも取り組む。

4. 子どもの読書活動推進

- 子どもの豊かな読書環境づくりのため、児童書の充実や読み聞かせ活動、図書展示・貸出の支援を実施。
- 市町立図書館との連携による児童向けイベントや学習支援も重視。
- 家庭・学校・地域が連携して読書習慣の定着を図る仕組みづくり。

5. 図書館資料の管理・保存とサービス基盤

- 資料（図書、雑誌、映像資料等）の収集・整理・保存を強化し、デジタル化推進も進めている。
- ICT技術を活用した資料検索・貸出・閲覧サービスの充実を図り、将来にわたる資料の保全にも注力。
- 専門職員の育成や図書館間の協力体制確立によって、サービスの質的向上を目指す。

滋賀県
図書館貸出数4年連続
全国2位
「県民1人当たり」
7.05冊
県・市町連携

26.5.22京都新聞記事

湖南市の図書館を取り巻く状況

1. 若年層の利用促進に向けた課題

- 過去6年間の年齢別貸出状況によると、小学生までは利用が多いものの、中学生・高校生世代になると急激に落ち込み、全体の2%未満にとどまっています。さらに、大学生や社会人初期の若年層も同様に低迷しており、10代から20代全体で全体の5%未満という状況が常態化しています。この層の利用促進が喫緊の課題です。
- 若年層に向けてYA（ヤングアダルト）コーナー等を設置しているものの、さらなる来館や利用につながる魅力あるアプローチや居場所づくりの工夫が課題となっています。

2. 利用環境の多様化とサービスの拡充

- これまで学習利用（自習）について制限していましたが、図書館で学ぼうとする学生等の高まるニーズに応えるため、新たに学習スペースを設置しました。

3. イベント・地域交流活動

- 読み聞かせ会や講座などの文化イベントを通じて地域の交流拠点となっている一方、これまでその魅力や情報の周知・発信が十分にできていなかったことが課題となっています。

4. 地域連携の現状と課題

- 学校、保育園等との連携協力等は一定進んでいるものの、福祉施設等との連携は十分に進んでおらず、地域との協力体制の構築が大きな課題です。

5. 行政連携の現状と課題

- 福祉、教育、住宅、商工観光など庁内各課との連携による展示や講演会を実施してきましたが、単発のイベントにとどまることが多く、行政が抱える課題の解決に向けた本格的な協働には至っていません。
- 幅広い市民が日常的に訪れる図書館の「市民との高い接点」という特性を活かし、行政各課の施策や課題を市民へ効果的に届けながら、行政課題の解決支援に積極的に取り組むための連携体制の構築が求められています。

6. 利便性の向上とデジタル化

- 地域の貴重な歴史的資産である『石部町史』や湖南三山の写真等をデジタルアーカイブとして公開し、地域情報のデジタル化と活用を推進しています。
- スマートフォンやパソコンからの蔵書検索・貸出予約に加え、スマホを活用した学習スペースの予約機能を導入するなど、いつでもどこからでもアクセスできる利便性の高い環境づくりを進めています。
- セルフ貸出機能の導入や電子書籍サービスの活用など、ICT技術を取り入れた効率的で多様なデジタルサービスを展開し、利便性の向上に努めています。

湖南省における課題の把握

以下のアンケートやワークショップの結果から課題を把握します

市民アンケート

- 「誰が、どのように、何のために図書館を利用し、どんなサービスや改善を望んでいるか」を把握することで、利用者の実態やニーズを具体的に明らかにし、図書館の課題を的確に抽出する。これにより、利用者に合ったサービス向上や改善策を計画に反映し、より利用しやすく満足度の高い図書館を目指す。

市民ワークショップ

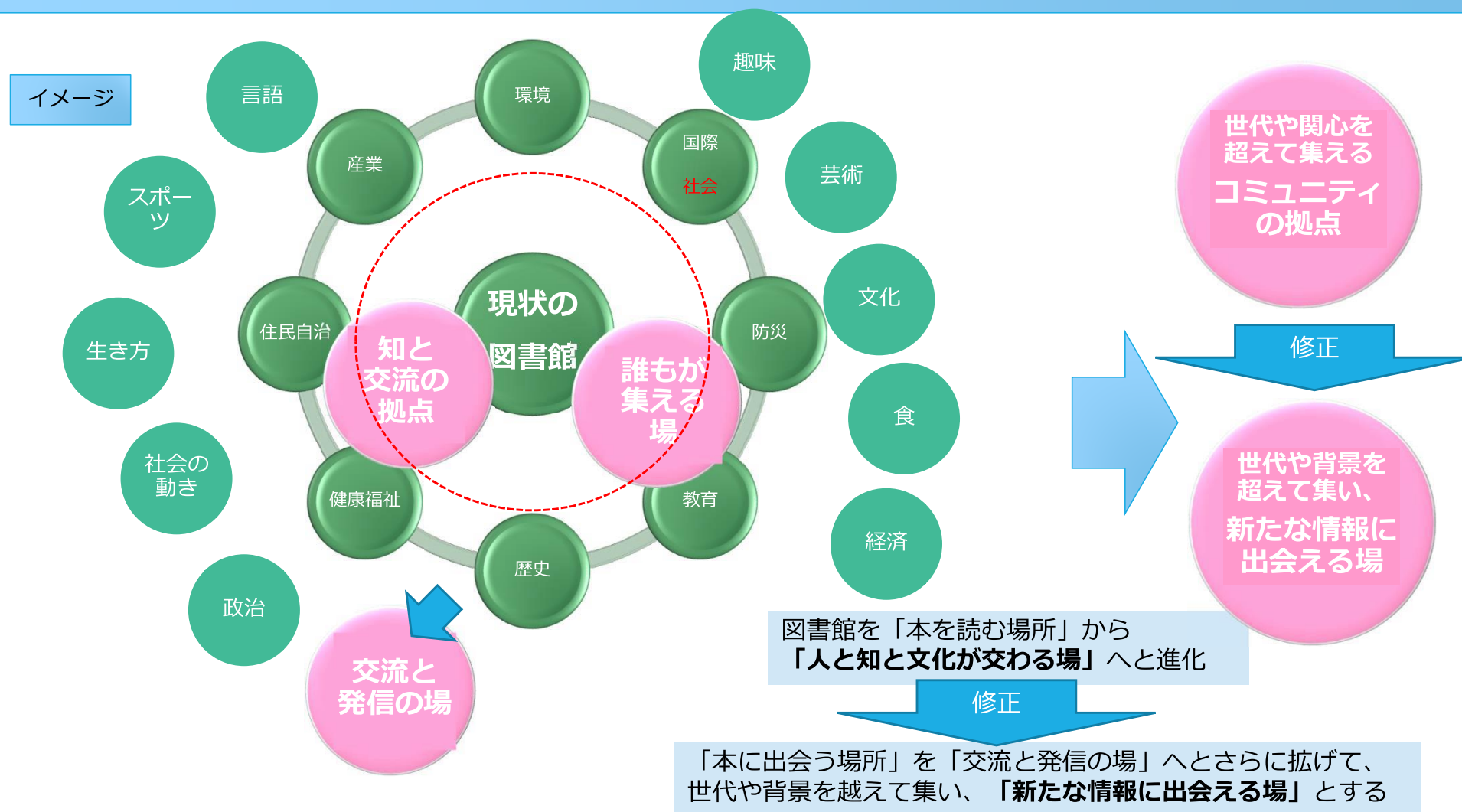
- 利用者の希望や意見を直接把握し、図書館に必要な課題を明確にします。これにより利用者視点を反映した実効性の高い基本計画をつくり、市民の共感と協力を得てより良い図書館サービスを実現する

職員アンケート

- 現場の実態や課題を具体的に把握し、優先的に対応すべき問題を明確にする。また、職員の意見を反映して計画の実効性を高め、より良い図書館サービスの実現を目指す。

第3章：目指すべき将来像と基本理念

目指すべき将来像



第5章 ：基本施策 (柱)

第1回の案

1. 多世代が利用しやすい施設の整備

バリアフリー化や子ども用スペースなど充実を図り、誰もが気軽に訪れやすい環境を整える。

Wi-Fiやデジタル機器の提供など、情報アクセス環境の充実も推進。

2. 地域特性に応じた資料の充実と見直し

地域の文化や歴史、ニーズに即した資料収集や分類を行う。

電子書籍や多言語資料の導入も進め、幅広い利用者のニーズに応える。

3. 市民参加型の図書館運営の推進

市民ボランティアなどによる協働運営を促進し、地域住民の声を反映。

イベントやワークショップを通じて地域とのつながりを深める。

4. 知的好奇心を刺激する学習支援プログラムの展開

読書会、講演会、親子ワークショップなど多様なプログラムを企画。

学習支援や情報リテラシー講座を提供し、市民の生涯学習を支える。

5. 職員の専門性向上とサービス品質の向上

定期的な研修や専門性向上のための研修制度を確立。

利用者対応力や情報整理能力を高め、充実した図書館サービスを継続的に提供。

第5章 ：基本施策 ＝主な取組み

修正案

①地域の情報・文化の拠点となる図書館の形成

- 幅広い資料の収集と保存
～地域特性に応じた資料の充実～
- 行政・公共機関等との連携
～連携したイベントや展示、情報発信の充実～

地域の文化や歴史に根ざした資料収集や分類を強化し、地域理解を深めることに資する。

電子書籍や多言語資料の導入も進め、幅広い利用者のニーズに応える。

地域の施設や行政機関等とのイベント実施や連携した展示等や情報発信を行う。

②市民の学びを支える図書館サービスの充実

- 資料・情報提供の充実
～知的好奇心を刺激する学習支援プログラムの展開～
- レファレンスの充実
- 図書館職員の資質向上
～職員の専門性向上とサービス品質の向上～

読書会、講演会、親子ワークショップなど多様なプログラムの企画、実施をする。

学習支援や情報リテラシー講座を提供し、市民の生涯学習を支える。

利用者対応力や情報整理能力を高め、充実した図書館サービスを継続的に提供する。

③こどもの読書と豊かな育ちを支えるサービスの展開

- 読書環境の整備・充実
- 学校・園等との連携
～こどもたちの本に親しむ環境づくり～
- 地域・企業との連携

乳幼児から発達段階に応じたこどもが本や物語に出会う機会の提供をする。

地域イベントの共催や地域産業紹介や企業スポンサー協力、連携による協働プロジェクトを行う。

④誰もが利用しやすい快適な環境づくり

- 快適な環境づくりの支援
～多世代が利用しやすい施設の整備～

バリアフリー化や子ども用スペース等、誰もが気軽に訪れやすい環境を整える。

Wi-Fiやデジタル機器の提供等、情報アクセス環境の充実を図る。

ヤングアダルト向けコーナー、親子向けイベントを充実させる。

⑤市民協働による価値の共創と多文化共生の推進

- ボランティア活動等市民参加の推進
- 多文化共生の推進

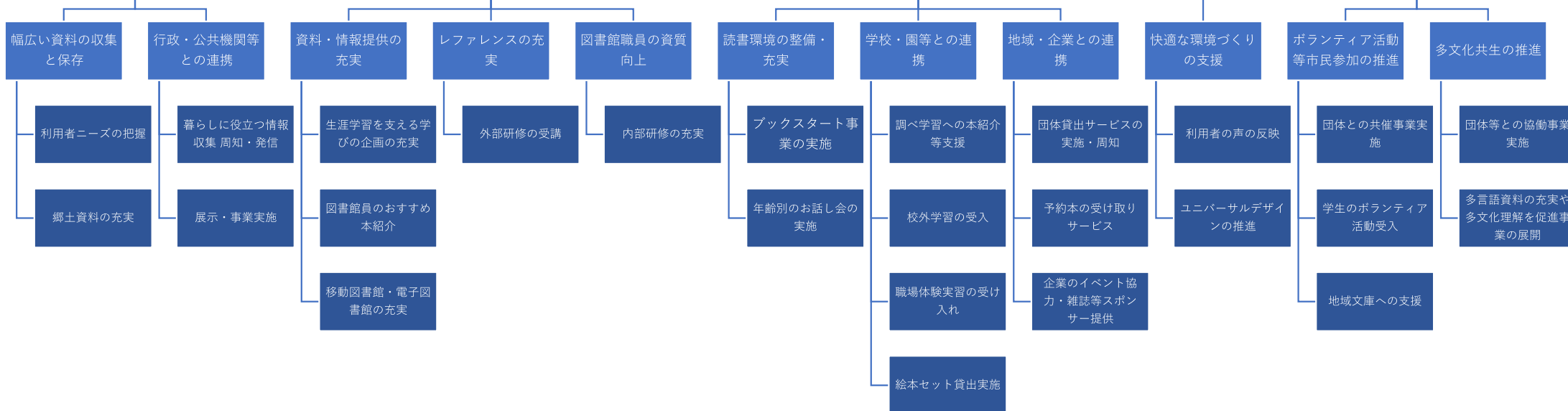
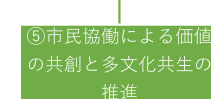
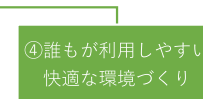
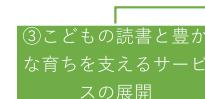
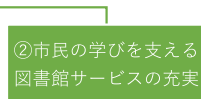
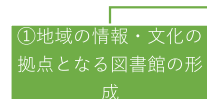
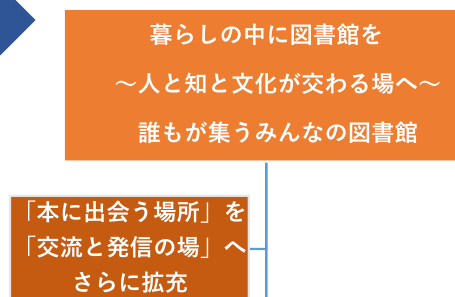
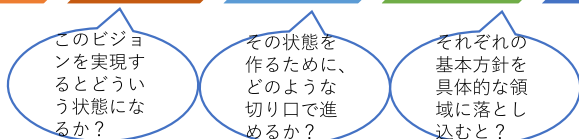
市民ボランティア活動等市民参加の促進をし地域とのつながりを深める。

互いの多様性を尊重するため、関係機関との協働多文化理解の促進を図る。

湖南省図書館基本計画に基づく数値目標

基本方針	基本目標	指標名	指標説明	基準数値 令和7年度	令和9年度目標	令和10年度目標	令和11年度目標	令和12年度目標	令和13年度目標
あらゆる世代が学び、知識や文化にアクセスできる基盤づくり	①地域の情報・文化の拠点となる図書館の形成	市関係課との連携事業実施数【会場図書館】	・平和学習事業 ・教科書展示等 関係課等と連携して事業を行います。	14事業					
	②市民の学びを支える図書館サービスの充実	実利用率 【実利用者数＝年度中に一回以上貸出をした人の実数。 実利用率＝実利用者÷人口】	来館者数や貸出数などから図書館の利用度を示し、サービスの効果や改善点を把握します。	12.5%					
		図書館の利用促進につながる事業回数	多様な利用機会を提供し、地域住民の図書館利用促進とサービスの拡充を示します。	6事業					
		人口一人あたりの資料費	資料充実度を示し、多様なニーズに応える基盤とします。	376円					
誰もが安心して心地よく過ごせる居場所づくり	③こどもの読書と豊かな育ちを支えるサービスの展開	児童書貸出冊数	こどもたちの読書習慣の形成と利用状況を把握します。	77,741冊					
		児童への集会事業等実施数	児童向けサービスの充実度や利用促進の状況を把握します。	65回					
	④誰もが利用しやすい快適な環境づくり	来館者数	図書館の利用実態や地域住民の関心度を直接示します。	66,216人 (R7.6月～甲西図書館)					
多様な文化や意見が交わり、新たな価値を共創・発信する場づくり	⑤市民協働による価値の共創と多文化共生の推進	図書館事業の協働事業者数	地域や他団体との連携強化によるサービス拡充と、多様なニーズへの対応力を示します。	2事業				18	

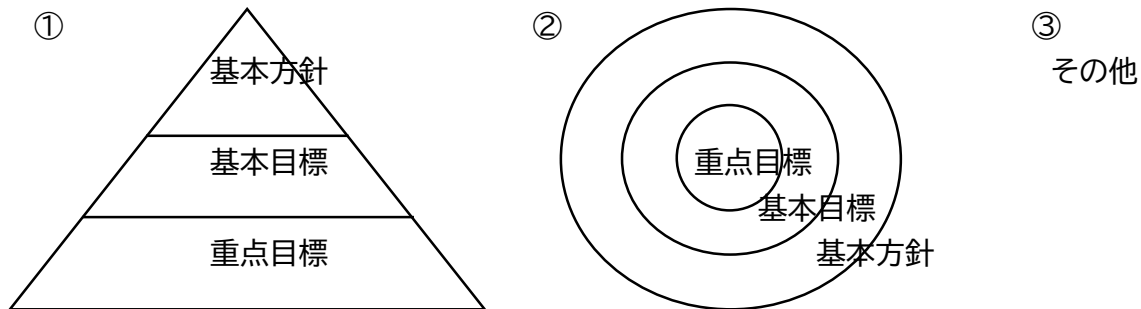
資料2



委員名 _____

1 第1章について(P10)

(1)基本方針・基本目標・重点目標の関係は、イメージとしてどのような形になるのか？



*基本方針、基本目標、重点目標等の関係はさらに論議し、整理する必要がある。

(2)基本方針が並列で示されているが、この形がよいのか？ 集合で表現するのがよいのか(集合で表現した場合、「交わり」の部分は何を示すことになるのか？)

(3)「あらゆる世代の人」とあるが、「世代」だけを強調しなくてもよいのではないか？

(4)「癒し」について、一般的に「癒し」と表記すること多いが、文科省の「送り仮名の付け方」によると「癒やし」を採用している。NHK や新聞でも「癒やし」とされている。どう表記するか？

(5)「ウェルビーイング」について、文科省や各種メディアでは「ウェルビーイング」とされている。

(6)論議を進めるために委員の間で共有しておきたい。(たたき台を示すが、これでよいか？)

- ・知識と文化の情報拠点 → 【インプット】 読書、調べる、外国語、レファレンス、検索、知る喜び
- ・癒しや育みの居場所 → 【ウェルビーイング】 学び、親子、アウトリサーチ、落ち着ける喜び
- ・交流と発信の創造空間 → 【アウトプット】 出会い、発表、新たな気づきの喜び

2 第1章について(P11)

(7)基本目標の「情報と文化の拠点」「ほっとできる居場所」は、基本方針とほぼ同じ。繰り返す必要はないのでは？(何のために基本目標を設けるのかが、いまだ不明)

(8)重点目標の段階で具体的に書き込む必要はないが、「市民が情報を身近に感じられる仕組み」とは、どのようなものをイメージしているのか？ 委員会では具体的にしたうえで論議したい。例えば、「本からたくさんの知識を得たい」「ネットが自由に扱えない」市民にとっては、身近に情報が得られる場所があると助かるだろうが、それを図書館が担うとなると「1館に集約する」方向と異なると言わざるを得ない。どう考えればよいのか？

(9)重点目標は、設けるのであれば計画の冒頭に位置づけるべきであろうが、何を重点とするかについては、内容の論議が一巡した後で改めてピックアップした方がよいのではないのか？

(10)「各地域」とは、自治会単位なのか、小学校単位なのか、中学校単位なのか？ また「読書環境を考え」て資料を整備していくのではなく、学びのための資料の充実を考える必要がある。

3 第1章について(P12)

(11)「湖南省公共施設総合管理計画」は関連計画であって、上位計画の位置づけではない(つまり、基本計画の策定によって総合管理計画は変更の余地がある)という理解でよいのか？

4 第2章について(P13)

(12)「利用者が必要な情報を得にくい」のはなぜか？ 図書館としてどう考察しているか？

(13)表現がまずく、意味が伝わりにくい所がある。

- ・上段左から2つめ 日本語として伝わらない。省略した書き方をしない。
- ・上段左から5つめ 「期待されている」とあるが、誰が期待しているのか？
- ・上段右から2つめ 「内外」はどんな意味で使っているのか？ 「期待がある」の主語も不明。
- ・上段右端 「懸念の声」の主語も不明。

(14)「課題」には、すぐに改善が図れる(図っていかなければならない)もの、長期的な見直し(構造的な改革)が必要なものと見受ける。それを分けて考える方がよい(中段と下段が単なる繰り返しになっている項目がある。「課題」1～7を基本方針に合わせて並べ替え、整理するとよいのでは)。

5 第3章について(P14)

(15)「現状の図書館」を取り巻くように8つの観点が示されているが、なぜこの8点なのか？ この8つを重点とするのか、あくまでも例示なのか？ (他に、生き方、物語世界、思索、芸術、スポーツ、言語、政治、経済、社会の動き、食、趣味など、もっとたくさん考えられるが…)

(16)「国際教育」を「教育」から独立させているのはなぜか？ 「国際社会」ではだめか？

(17)「歴史」とはどこの歴史か？ 「郷土」とする方がよいのではないのか？

(18)P3の「基本理念」に「理念」「目指す姿」があるが、これらが第3章に位置づくと考えてよいのか？ P14には『「人と知と文化が交わる場」へと進化』とあるだけだが…。

(19)「基本方針」「基本目標」「重点目標」があって、さらに「目指すべき将来像」「基本理念」があるとする、いろんな言葉が踊りすぎて、分けがわからなくなる。そのくせ、湖南省が図書館を設置することによってめざすものは何か？ 「人と知と文化が交わる場」は何となくわかるとしても、図書館があることによって、何が変わり、何が生まれるのか。図書館を通じて、どんな人づくり・まちづくりをしていこうとするのか？ は、全く見えてこない。

6 第4章について(P15)

(20)「甲西図書館リニューアル計画」をP15～18で拝見する限り、古く固定的な感覚でリニューアルを考えた(これからの図書館像としてはまだまだ不足)ものと言わざるを得ないが、リニューアル計画ありきなのか、基本計画を練り上げていくことによって変更していくものなのか？

(21)前項を踏まえ、「本と出会える空間」を掲げるより、「(図書館)資料と出会える」にしてほしい(図書館で本をそろえる)のは当然のことであるが、本さえあればよいといった考え方は捨て去るべきであり、そのためにも「本と出会える」は使わないでほしい。

- (22)このページは P13 の「課題1」への対応策？ グラフを読み取ると 72%の利用者が本の探しやすさに満足しているが、課題が重要度順に並んでいるとすれば、これを「課題1」とする必要があるのか？
- (23)「市民アンケート調査」の日付を入れる。新たに行うアンケートと区別するため。
- (24)「若い人たち向けの本」とはどのような本をイメージしているのか。コミックなども収集・充実を図っていくのか？ また、本を読んでもらうことはもちろん大切だが、若い人たち向けにはもっと他の工夫を凝らした方がよいのではないか？
- (25)「ICTを活用して」の使い方が曖昧。「ICTを活用することによる図書館づくり」を目指すのか、「図書館でICTを活用することで利用しやすくなる」のか？ また、「ICT」とは検索システムのことなのか、資料の自動貸出機なのか、電子図書の充実なのか、はたまたそれ以外なのか、わかりにくい。
- (26)改善策として「見せ方を工夫」することは大問題。「どのように」を少しも書かず、「工夫します」だけで済ませないでほしい。
- (27)「見せ方の工夫」の一つに余裕ある展示がある。しかし、それを実現するスペースがあるのか？ 開架書棚を減らすのも一つの方法だが、それでは利用者のニーズに応えることにはならないだろうし…。
- (28)子どもが本をいろんな姿勢で読めるスペースも作りたい。
- (29)P17「図書館に来られない人にも…」では写真にキャプションがついていて「こういう図書館をめざしたいんだな」ということがわかりやすい。このページ(及び他のページ)にも写真には意図を感じさせるキャプションを付してはどうか。
- (30)資料を増やすとなると、当然保管場所も拡充する必要性が生じる。書庫の拡充計画も明記すべき。

7 第4章について(P16)

- (31)市民アンケート調査結果を踏まえて、図書館として考えている「居場所」、実現していこうとするものは「飲食できるスペース」「学習スペースの充実」「友人などと交流できるスペース」「施設のバリアフリー化」「キッズスペースの拡充」「屋外で本が読める環境」のどれか？(それを策定委員会に委ねようとするのか？) 県立図書館や守山市立図書館では飲食スペースが併設されており、長浜市のさざなみタウン(長浜図書館が入っている)には、ダンスや音楽の練習ができるスペースが併設されている。
- (32)守山では館内のカフェで購入した飲み物や家から持参したフタつきの飲み物の持ち込みが許されている。アンケート結果で「本や雑誌の充実」の次に利用者が望んでいるのは「飲食できるスペース」だが、守山市立図書館のような読書環境(ある種のゆるさ)ではないか。今回のリニューアルでそれに応えようとする気はあるのか？(あるなら、もう少し踏み込んで書くべき)
- (33)「学習スペース」や「交流できるスペース」についても言及を。また、学習スペースだけでなく、趣味の活動等ができるワーキングスペースがあることも重要。
- (34)「静かな雰囲気が苦手」という人がいるが、図書館は必ずしも静謐を旨とする施設ではなくなってきている。湖南市の図書館はどう考えるのか？

(35)障害のある人、外国籍の住民にもやさしい、湖南省ならではの対応を考えることが大切。

8 第4章について(P17)

(36)平和堂、丸善、トライアル、ラムー等にも「予約受取機」や「返却ボックス」を設置できないか？

(37)例に挙げているアンフォーレでは、館外で予約本を受け取れるだけでなく、予約者が指定する公民館でも可能とするなど、便宜が図られている。キャプションには、ぜひそこまで書いてほしい。そして、湖南省においても、同様のサービスを実現してほしい。

9 第4章について(P18)

(38)「市民とともに育つ」のイメージがわいてこない。

(39)「魅力的なイベント」とはどのようなものを考えているのか、例をあげてほしい。

10 第5章について(P19)

(40)「1.多世代が利用しやすい施設の整備」とあるが、これまで使われてきたのは「あらゆる世代の人」。用語の整理・統一を。

(41)ハコの大きさが変わらないとすれば、子ども用スペースなどの充実はあるのか？

(42)「地域特性に応じた資料」として、例えば、野呂昶氏の著書を網羅した野呂昶文庫を設けてはどうか？他に、象の化石・うつくし松・三雲城・アールブリュット・「この子らを世の光に」に関する資料を集め、展示してはどうか？ また、現在は西庁舎1階に置かれている農具等も図書館が統括すべきだと思う。

(43)市民ボランティアと何を協働運営しようとするのか、説明を。(「貸出・返却業務などをお願いすることは個人情報の漏洩に繋がる」として、かつては中学生の職場体験もさせてもらえなかった)

(44)「充実した図書館サービス」を提供するためには、専門的な知識を要する職員を配置することが必要。現在のように行政職員が勤務場所の一つとして仕事をするのであれば、「充実」は実現しない。それを人事担当までしっかりと徹底してほしい。

11 第6章について(P20)

(45)今回策定する基本計画で事業を推進した結果、市民からのチェックで仮に低い評価結果が出たとしても、すぐに事業を廃止したり予算を削減したりするのではなく、方向性を見直すなどにより、さらに存在価値の高い図書館づくりを目指すという基本姿勢で臨んでいただきたい。(策定委員会でも確認したい)。

12 その他

(46)予算をかければできるものがある。逆に、予算がなければできないことがある。この計画は、予算を意識して立案するのか。それとも、計画に基づいて予算化されるのか。そのスタンスが明確にされないと、どこまで踏み込んだ計画にしてよいかかわからない。

(47)委員があげた質問は、すべて共有したい。事務局の段階で整理しないでほしい。(前回お渡しした意見も一緒に。また、第1回委員会の際にお渡しした高月図書館のフォーラムは報告させてもらえるのか？)

(48)本年3月の報告書「図書館が拓く未来の学びと地域社会」を踏まえた計画にすべき。

13 アンケートについて

(49)唐突に設問が始まるが、問いかける前にアンケートの目的を明記すべきではないか。

(50)クロス集計を行い、それに基づく考察ができるようにしてほしい。例えば、「問い1」「問い2」「問い4」から、「石部図書館を月に1～2回利用する石部小学校区の方々は60歳代が最も多くて56%、年代が下がるにつれて利用の度合いが低下し、20歳代以下では回答者の5%しかいない」などと。

(51)「問い1」の「質問意図」に「若年層・子育て世代の意見を重視する」とあるが、その世代かどうかで判断するのではなく、「子育て中」なのか、これまでに子育ての経験があるのか、ないのかに基づいて考察しないと正確な意見の把握にならないのではないか。(そもそも、「子」とは就学前か、小学生か、中高生も含むのか。「子育て世代」とは何歳代を想定しているのか。想定が曖昧すぎると思う)

(52)「問い2」の「質問意図」に「石部図書館の存在意義に対する地域住民の意見を分析するための基礎情報」とする旨が書かれているが、この問いは住んでいる地域を答えてもらうだけであり、本当に存在意義や甲西図書館に集約しようとするに対する住民の意見を聞こうとすれば、石部図書館の利用状況や市当局の考え、議会でのやりとりなどを簡潔に紹介したうえで「あなたは石部図書館を廃止して甲西図書館に集約することについて……」と尋ねるべきではないか。

(53)「問い3」の選択肢について。「③移動図書館」を「③移動図書館(マツゾウくん)」とした方が理解できる人がいるのではないか。

(54)「問い4」について。ここにある選択肢はこれでよいと思うが、「以前はよく利用していたが、最近はあまり利用していない」という方もおいでになると思う。その方は「図書館に頼る必要がなくなった(電子書籍やインターネットの利用で事足りている)」「必要があって図書館を利用したが、今はその必要がない」「図書館を利用する利点を感じなくなった(魅力を感じなくなった)」「湖南市以外の図書館を利用している」のか(または「その他」)を聞いてみたい。

(55)「問い5」「問い7」では「二つまでお選びください」とされているが、「問い6」のように「当てはまるものを全てお選びください」としなければ、ゼロ回答になる選択肢も出てくるのではないか(少数意見であろうと、利用の実態をしっかりと把握したい)。

(56)「問い5」の【移動図書館】の選択肢について。甲西図書館や石部図書館には項目がないのに、移動図書館に対してだけ「③新しい本との出会い」を挙げているのはなぜか(わざわざ挙げる必要はないと思う。聞く必要があるなら、2館の選択肢にも加えるべき)。

(57)「問い5」の【移動図書館】の選択肢について。2館の選択肢にある⑦、⑧、⑨を加えるべき。

(58)「問い7」の選択肢について。「図書館を利用する利点・必要性を感じない」を加えてほしい。

(59)「問い8」「問い9」「問い11」の設問について。「複数選択可、自由記述も併記」は雑な書き方に思える。「問い6」のように「当てはまるものを全てお選びください」とし、「また、『その他』には自由にご意見をお書きください」とする(全体のトーンを合わせる)。

(60)「問い9」の選択肢①「情報発信」は誰が行うものか。図書館か、利用者か。

- (61)これからの図書館は本がすべてではないとは言え、⑦、⑥、⑤、⑧、③、⑨、②、①、④の順がよいのでは。また、⑤は「学校図書館や大学図書館との連携強化」にしてほしい。
- (62)「問い10」「問い11」の「デジタルサービスと開館時間について」の前に、「どんな本や資料があると図書館を利用したいと思いますか」という問いかけがあってしかるべきでは。
- (63)「問い12」の設問のカッコ書き「人件費増嵩の制約がある中で……」は書く必要がない。
- (64)「問い12」に「①早朝」を設けるなら、「7時から」とか「6時30分から」とか、思い切ったことを聞く方が住民の思いを聞くことになるのではないか。また、「12時～13時」を設けて、会社等の昼休みに利用したい人の有無を聞いてはどうか。
- (65)「問い14」の選択肢について。「①巡回場所や巡回回数」を具体的に書いてもらってはどうか。
- (66)「問い14」の選択肢に「移動図書館を新しくしてほしい」「2台目の移動図書館を作してほしい」も加えてはどうか。
- (67)「問い16」の【質問意図】について。設問の目的が書かれているが、果たしてこの設問で「生薬の議論がある中で、その地域の特性やニーズを可視化すること」ができるだろうか。
- (68)「問い16」の選択肢について。④にある「生活支援」には、「本があることで生活を豊かにする」といった意味を持たせているのだろうが、この言葉には生活を“経済的に”支援するという行政用語的意味合いが張りついてしまっていて、回答者に誤解(または混乱)を与えるのではないか。
- (69)「問い16」の選択肢について。⑦に「発信拠点」とあるが、発信するのは「地域の歴史や文化に関する資料・情報」(つまり、主語は「図書館が」となる)に限らなくてもよいのでは。「調べたり学んだりした資料・情報の発信拠点」(つまり、主語が「利用者が」となる)を新たに加えてもよいのではないか。
- (70)「問い16」の選択肢について。⑨だけが異質に感じられる。なくてもよいと思うが、必要なら「近くに図書館があること自体が役割」としてはどうか。

14 中学生・高校生アンケートについて

- (71)アンケートの最後に「あなたの意見を元に、みんなが使いやすい図書館を目指します」とあるが、設問の前にアンケートの目的を明記すべきではないか。
- (72)このアンケートも、クロス集計による考察ができるように。
- (73)「3. 図書館を利用したことがありますか？」の設問について。「複数選んでもOK」は中高生をナメている。大人向けアンケートと同様、「当てはまるものを全てお選びください」に。
- (74)「3. 図書館を利用したことがありますか？」について。選択肢を変えないなら「市内の図書館を」に変更すべき。逆に、問い方を変えず設問に「小学校の学校図書館を利用したことがある」「中学校の学校図書館を利用したことがある」「高校の学校図書館を利用したことがある(高校生のみ)」「市外の図書館を利用したことがある」を加える方法もある。(個人的には選択肢を増やす方法を支持)

(75)「3.」で選択肢を増やした場合、当然、「4.」には「小学校の学校図書館」「中学校の学校図書館」「高校の学校図書館」「市外の図書館」が加わることになる。(ここで「移動図書館」について聞かないのはなぜか? 「巡回してくる場合はほぼ全回」「年に数回程度」「年に1回程度」「その他」)

(76)「3.」で選択肢を増やした場合、当然、「5.」にも「小学校の学校図書館」「中学校の学校図書館」「高校の学校図書館」「市外の図書館」が加わることになる。

(77)「5.」では「二つまでお選びください」とされているが、「当てはまるものを全てお選びください」としなければ、ゼロ回答になる選択肢も出てくるのではないかと(少数意見であろうと、利用の実態をしっかりと把握したい……大人向けアンケートと同じ)。

(78)「5.」の選択肢について。【移動図書館】には「移動図書館員との交流」がある。【甲西図書館】【石部図書館】にも同様の項目、または「図書館員によるレファレンスサービス」を入れるべき。

(79)「5.」の【移動図書館】の選択肢について。甲西図書館や石部図書館には項目がないのに、移動図書館に対してだけ「②新しい本との出会い」を挙げているのはなぜか(わざわざ挙げる必要はないと思う。聞く必要があるなら、2館の選択肢にも加えるべき……大人向けアンケートと同じ)。

(80)「6.」「7.」にある「複数選んでください」は、一つだけ回答するのは認めないとも読める。「当てはまるものを全てお選びください」と改めて、同じトーンで聞くことが大切。

(81)「7.」の設問について。「図書館にあったらいいなと思うサービス」を問うのは図書館から見れば大切。しかし、利用者が主体的にかかわる(そうした意識を持つ)ためにも「こんな図書館にしてほしい」または「図書館でやってみたいこと、できたらいいなと思うことはどんなことですか。当てはまるものを全てお選びください」と問うべき。その選択肢は、「調べたり学んだりするためのたくさんの本や資料があること」または「たくさんの本や資料があって調べたり学んだりできること」、「調べたり学んだりするためのパソコンやインターネット環境が充実していること」または「パソコンや充実したインターネット環境を活用して調べたり学んだりすること」、「本や資料の検索、調べ方、まとめ方などについて、アドバイスしてくれる人がいること」または「アドバイスしてくれる人がいて、本や資料の検索、調べ方、まとめ方などがわかること」、「静かな読書・学習スペースがあること」または「静かなスペースで読書や学習ができること」、「いっしょに行った人と自由に交流できるスペースがあること」または「交流スペースでいっしょに行った人と自由に活動できること」、「飲食可能なスペースがあること」または「飲食しながら本や資料を検索したり読んだりできること」、「イベント(読書会、発表会、図書館ツアー、マンガ講座など)が開催されること」または「イベント(読書会、発表会、図書館ツアー、マンガ講座など)に参加したり自ら企画・運営したりすること」、「その他」(「7.」をこのように変更すると「10.」は不要になる)

2026 年 7 月 20 日

湖南省図書館基本計画への意見・提案

次回、基本計画の素案をもとに検討を行う予定となっています。

今後、ワークショップや策定委員会において検討していきたい事柄をあげました。整理
途上ですのでご容赦ください。

1 公共図書館として求めたいサービスについて

- ・すべての市民に対して、公正に図書館サービスを提供することを市民に約束するとともに、市民もサービスの受け手としてだけでなく、ともにつくる担い手として参加する公共図書館であってほしいと思う。
- ・共生社会実現の点からは、特に以下の3点について考えたい。

①学びの欲求に応える

とりわけ家庭や学校だけでは学びや育ちが満たされない子ども・若者のことを考えたい。自らの生きる力を守り・育む拠点（場所があり人がいる）としての役割は大きいのではないか。

②社会参加の欲求に応える

ひとり暮らしの人、認知症のある人、障害のある人、ひきこもりがちな人、困窮している人、ひとつきあいが苦手な人など、世代を問わず孤立リスクのある人にとって、図書館はどのような存在か。本や情報、司書との会話等が社会とのつながりを維持、回復する力となることを再評価できるとよい。

③多文化共生

湖南省には定住等の在留資格で長く市民生活を営む外国人住民がおられる。多文化共生の視点から、図書館としてどのようなサービス・機能や役割がつけられるだろうか。

2 複合施設化のイメージについて

- ・最近の公共図書館の好事例には複合施設型が多い。
- ・湖南省は観光都市ではなく、市の中心地は東西ともに商業地でもない。そういったなかで、湖南省図書館が拠点とする建物・ハコは、周辺も含めてどのような機能があるとよいのか、どのような場をつくっていくのか。
- ・上記1であげた3点とも関連させながら考えたい。

3 「身近な地域に図書館がある」状態をどのように実現するか

- ・計画は5年間の中期計画を予定されているが、その先2040年の湖南省の姿を展望したうえで中期計画を策定することが肝要と考える。
- ・高齢者人口の増加、人々が社会参加するための移動手段の変化など、社会の変化、市民の暮らしを推察したなかで、「身近な地域に図書館がある」状態をどのように実現するのか。多様な世代、地域、属性の人たちが具体的なイメージが出しあえるとよい。（直近でそのような取組みをされていたら、その内容をご教示ください。）

湖南市図書館基本計画に対する意見等について

委員名

[illegible]

今後の策定委員会について私見と要望

7月25日

策定委員

図書館基本計画策定について 委員会の進め方について	策定は計画・政策などの内容を議論検討し、合意形成を経て、公式に決めることだと思いますが、 ■委員会としての進め方を具体的に示してほしい。(事務局?会長?) <u>どのようなステップを踏んで、決定していくのかを明確にし、周知案内すべきでは。</u> 多様な意見や提案を聴くだけの場なのか、委員会としての意思決定の場とするのか 意見、提案、提起→集約・選択→合意形成(賛否/承認?)→決定→次の議題
委員会毎の議題について	■限られた時間2Hの中でひとつのアウトプットを求めるならば、できるだけ検討課題(議題)を絞って具体的に決めていくことが必要では。 広い、大きな議題「〇〇について」のような場合は、何から意見を述べればいいのか判断しにくいので、総論に入ると論議論点がずれることが多い。 絞った検討課題の中での意見を深く、広く求めていくことも必要では。 事務局会議案内でも「〇〇について」 ①◇◇◇◇ ②■ ■ ■ と番号ふっていただくと、委員の方も事前確認、整理ができて、議論に参加しやすい。 会議案内については案内前に事務局、会長と打合せが必要だと思います。(されているとは思いますが) また事務局でも検討課題の資料等は会議前配付・配信が必要かと思います。 ■委員会の進行次第で今後の策定委員会の開催日程や議題内容が変わると思いますが、基本計画策定に必要な検討課題項目は現時点では第3回以降は未定ですが、事務局としてゴール(着地点)までの検討課題項目が明確にあるのであれば、一覧として委員の方に周知しておくと、情報収集、項目検討に時間がとれるので良いと考えます。
基本理念・Gビジョンについて	■Gビジョン案の提案(事務局)の背景は何か

	現在の図書館の課題は何か→委員会の情報共有、認識がまず必要ではないか ・事業実績報告、データの評価や利用者の意識、行動から ・図書館の社会的潮流や、「情報」に対する価値感・動向変化データから ・利用者アンケートかや図書館職員の声(利用者からの声)から ・たたきの「ビジョン」でも上記の評価の上で組み立てるべきではないか <u>Gビジョンに基づいて、具体的な政策や計画、目標を立てるため、指針となるものなので、委員の一定の納得性のあるもの、ベクトルを合わすもの、根拠性をもった理由説明が必要では。</u>
図書館事業実績報告について	■現状の図書館利用状況や資料内容、電子図書利用、職員体制、集会行事、協力事業等の内容となっているが、数値データから読み取れる傾向値、他比較、客観的基準からどのように評価しているのか、課題は何かが不明確と考えます。また今後の目標値は設定どうするのか?その目標値を達成するにはどのような施策や事業に力を入れるのかを連動させていく必要があると考えます。今後のデータの取り方も「図書館の運営課題」が明確になるようなデータ、収集と分析が必要では。 <u>※現状のデータでも世代別利用状況も見えない中での施策は打ちづらい</u>
先進地視察について	<u>■湖南省図書館の課題を明確にして、改善解決・リニューアルにつながるための視察でありたい。</u> そのためには事前の課題整理と視察先図書館の情報・資料を収集の上、具体的にどのように課題解決をされているのか、されたのか、視察図書館との会議・交流時間の中で道筋・糸口が見えるようにしたいと思いますので、早い段階で資料の配付・配信お願いしたい。 ・視察図書館と湖南省図書館の比較資料の作成がのぞましい。 (特に新しい取り組み内容、図書館サービスの内容/評価等)
ワークショップについて	■委員会で提案のあった生徒によるワークショップ運営について、委員会としての

	コンセンサスの有無はともかく、生徒による運営をするとなると、いろいろと準備、進行、研修等に十分な時間が必要と考えますが、現段階では8月の実施予定は厳しいと思います。取り急ぎの進め方は混乱を招く結果となることを懸念します。<u>ワークショップ開催時期の見直しが必要と考えます。他の策定スケジュールとの調整を。</u>

湖南省図書館基本計画に対する意見等について

委員名

区分	改善点・懸念点	追加提案・アイディア
初回配布の資料 2 の位置 づけ	＜質問＞P1～7 の資料タイトルの右側に「令和 8 年 6 月…報告資料」と記載されていますが、これは事務局のガイドラインであって、委員会の討議の中ではふさわしいように変更可能と考えていいのでしょうか？	＜意見＞7/23 開催の図書館協議会を傍聴したが、委員から①P9 以降の事務局案の GrandVison や基本方針が一体何をやりたいのか抽象過ぎてわかりにくいという意見、②図書館協議会は策定委員会のその都度の内容報告を受けるだけで、図書館協議会の意見聴取の機会を与えて欲しいという意見が出た。そこで資料 8 の条例第 8 条に則り、策定委員会の運営に関して必要な事項として、図書館協議会の意見聴取の何らかの機会、場を、島田会長から会議に諮っていただきたいというのが、協議会を傍聴した元図書館協議会委員の私の要望です。
今回のアンケート	公共図書館の本来の使命である「本を読む場所」として、過去は滋賀県下で上位の人口1人当たり貸出冊数を誇っていたのに、今は貸出冊数も順位も落とし続けている。単なる指標数値を出すためではなく、何が問題でその原因は何か、その対策を立てるために資するアンケートをするように昔から図書館協議会で提案してきたが、予算が取れず、開館日時延長のための些末なアンケートでお茶を濁してきた	今回のアンケート案でも、「甲西図書館の最初から限られたスペースでのリフォーム」と「(車検更新の問題点さえ解決できていない)移動図書館で何とか補う」と「(司書資格比率が引くままの)職員に何とか頑張ってもらう」で何とか乗り切ろうという目先のありきたりの設問で、果たしてこれだけで有効な解析とそれに裏付けられる対策が立案できるのか疑問である。最初から安易な対策のみを想定した設問では、未利用者のニーズ、あるいは社会環境の変化で図書館自体を必要としない人口比率の実態を把握することができない。 経験豊富な嶋田会長にもアンケート案の設問にアドバイスをして頂きたい。

	<質問> 9 ページ以下のものは、何もたたき台がないと策定委員会としてどのようなイメージかわからず困るだろうということで仮に事務局がたたき台として策定した案でしょうか？ 条例の第 2 条では「教育委員会の諮問に応じ、…必要事項を調査し、…その結果を答申する」となっています。スケジュールでは第 2 回、第 3 回くらいにはたたき台を作り、その後のワークショップ、アンケート調査結果(こちらは事務局側で手助けしていただけると期待していますが)に基づいて残りの2回で修正しながらの仕上げるといったイメージでしょうか？	定例の残り 4 回の会合だけで一から組み立てるのはスケジュール上、作業上厳しいと思われます。会長と副会長の負担も大きいと思われます。もしお二人の意向で作業の分科グループを有志で立ち上げた方がよいのならば加わって、できる範囲でお手伝いしたいと思います。
今回の策定案のキーワード GrandVisinn 中の「本を読むだけの場所ではなく人と知識、文化が交流する場へと進化」について	<強い疑念> 公共図書館の本来の使命である「本を読む場所」さえも、過去はともかく現状は甲西と石部の 2 館であっても「本を読むだけ」にさえ満足に役割を果たしているとは思えないというのが策定委員、図書館協議会委員の方々の多くの実感だと思う。そのななかでの「人と知と文化が交わる場へと進化」とは全くの認識違いとしか思えない。土台がしっかりしているなら進化とも言えるが、肝腎の土台が認知されていない。	<個人的な蛇足> 第 1 回目の委員会でも個人的に発言しましたが、「2 つあるものは 1 つでいい」というのは「独立して全く同じ機能を有し、かつその機能を十分果たしているものが 2 館もある」という仮の前提でのことであって、「見かけの数字上は 2 つであっても、本来の役割・機能がいまだ果たし切れていなければ」、2 つが補完し合えることにより活すればその前提からは問題にならないと考えます。端的に言えば、今は 2.0 館でなくて例えば 1.6 館でしかないのだからspれを 1.0 館にするのはおかしいということです。
	<質問> 抽象的な質問ですみませんが、今回の資料の位置づけとしての P9 の GrandVision と P10 基本方針のそれぞれの位置づけの違いは何ですか？ P11 中で 5 つの基本目標は P10 の基本方針をブレイクダウンした目標、3 つの重要(目標)はそのための施策、取組ということはわかるのですが。	役所の計画書の案(議会向けの説明資料?)の書式、章立てに馴染みがないのでこのような変な質問をしてしまいました。もちろん、教育委員会への答申なのでから一定の形式はあるでしょうが、やはり結果物を見た市民がちらっと手に取って、こんな図書館を目指しているならいちどあしをふみいれてもいいかなと思います。

P12 の計画の位置づけ	今回の資料をじっくり見直して、「計画の位置づけ」で今回の基本計画にはいろんな位置づけ＝制約があることに初めて気づきました、長年図書館協議会に参与してきたので図書館法と文科省通達はある程度わかっているつもりですが、湖南省の他の上位計画と関連計画はどんな点でどのように関連するのかわかっていません。三次総合計画はたまたま総合政策部の今井部長と山元室長から概要版のみ入手しました(詳細版は市役所には残部がなく HP 見て欲しいを言われました)。	できれば、事務局でそれぞれの「計画」と「プラン」の全部分ではなくても関連しそうな部分だけでいいので、第 2 回までにお手数をおかけしますがコピーを用意していただければ、ついでの時に図書館に受け取りに行きます。
P10の基本方針	真ん中の「ウェルビーイング」が図書館の性格付けとして全く意味不明(「体の健康、心の平穏、人との良いつながりや社旗的な豊かさが満たされた状態」ということらしいが)。 それよりも基本コンセプトは 3 つも要らず、イメージがある程度浮かぶ 1 つで充分と思います。	
P13 の市民アンケート結果による現状と課題	<要望> 令和 7 年度実施のアンケート設問とその結果まとめ、およびその結論に導いた解析内容を部外秘密部分がもしあれば除外して教えてください。この時のアンケートは外部委託でしたか？それとも図書館職員によるものでしたか？(最初は外注予定が、予算が足りず仕方なしに内部で行ったと聞いたような？)	この時のアンケートとは別に、図書館として実施した過去(ここ 20 年以内で結構です)のアンケートとその結果を教えてください。HP にアップされているのならその部分の URL を教えてください。 (ここ 20 年と指定したのは、近く 40 年史を編集することとで、以前の 20 年史が出ているので、その間の編集で当然見直し作業で使われるはずと考えたからです)
先進図書館見学	P15～18 の 2 館ずつ、合計 8 館の具体的な先進図書館が例示されているが、実はこれらの図書館をピックアップした選定理由は、出会いに関してだった	図書館の選定には嶋田会長、岸本図書館協議会委員のご意見をお願いしたいです。お願いしたいです。 なお私個人の意見ですが、石部図書館に代わる、甲西図書館

	らこの 2 館、居場所だったらこの 2 館、受け取り便利ならこの 2 館、情報収集からこの 2 館というように、総合的に優れているからではなく、それぞれの 1 つの観点だけに絞った場合の先進の一点豪華主義（個人的に見学に行ったことのある岐阜メディアコスモスは複数の観点から良いなと思いました）で選んだもので、このプレゼン資料を作成委託した業者がピックアップしたと聞いています。しかも私が指摘したいのは、これらのほとんどが金と設計と時間をかけて新設または全面建て替えた図書館がほとんどです。だからうちもこんな図書館にできるんですよ、とは市民に言えないものです。いい加減な業者委託をするとこのように「…をつくります」のタイトルの下にこんな写真が掲載してしまいました。 そこで図書館見学の目的と時期と規模をしっかり検討した上で、見学先の図書館を選ぶ必要があります。単に人気の先進と呼ばれる図書館に行っても、すごいけどうらやましいな、で終わってしまいます。我々の策定したい図書館がどの観点を重視するのかを委員で討議してイメージがそれなりに詰めた上で、その観点（理想的には複数の点で実現できている、しかも広くなくてもやりくりができていく）から参考になりそうな図書館に見学に行き、その創意工夫を図書館側に聞き出し、かつ利用者にも生の感想を聞きたいと思います。慌てないようにしましょう。	を補完する図書機能（カウンター業務がこなせる司書資格司書が望ましいが、少なくとも本好きの職員か学校司書の牽任者が毎日でなくても週何日か利用者の相談に乗れる最低限の職員体制）を有する施設で、児童書とヤングアダルトコーナーが充実し、高齢者には医療情報も充実し、市内の有益な情報はそこへ行けばわかる、た建物を甲西図書館を補完した施設として想定しています。さらに多少子どもが騒いでも利用者が温かい目で許容してくれるような施設です。大きいところでは金を掛けてさすがはすごいけどという岐阜メディアコスモスが再び言って委員の方にも見てもらいたいなと思っています。一方先進とは言わないけど、小さいながらも 2 館体制で頑張っている愛荘図書館、5 館でも甲南図書情報館は個人的には参考になるとおもいます。金があるなら先進でもいいけど、今参考にすべきは地味だけど利用者に支持される図書館が今回の基本計画策定の使命だとかんがえています。
P20 の計画推進	<質問> 今回の基本計画は策定委員会が策定して、3 月に境域委員会に答申するわけですが、この推進体制ではそれ以降に毎年度進捗状況をチェックを受	一方、評価する側が図書館協議会はすんなりわかりますが、ここに書かれた教育委員会に事業評価委員会というのはどのような組織、どのような委員メンバーですか？現在もどのような

	けるということですが、ここでのチェックを受ける計画推進者とはどこですか？図書館ですか？教育部ですか？ また実施状況の点検における指標とは事務局が想定しているイメージは何ですか？ このページを見て初めて、最初の疑問点、P11の「基本目標」と「重点目標」がここでの指標を用いた管理指標になじまない、あるいは図書館サービスは果たして定量では測れるのか？図ることが正しいのか？という議論を最初のうちに委員の方々の議論に俎上に載せたいです。	ほかの評価をされているのですか？この質問は、我々の策定中にも途中で意見交換すべきかなと思ってのことです。 また、このページを見て、先日傍聴した図書館協議会での、一方的な議事報告だけでは困るといった意見が再び頭によぎりました。 目標の設定で、数値化で縛るのは困難、というか無理に定量化できる目標にしなくてもよい、変な数値目標に縛られると図書館サービスが却って低下させかねないというのが長年図書館協議会で議論してきた私の実感です。変な定量的な目標の指標を無理やり設定し、自縛すると「角を矯めて牛を殺す」ことに成りかねません。市民笑顔率世界一は結果であり、図書館の利用満足度も結果です。笑顔率を上げる目標設定はこれかもしれないし、あれかもしれない。市内の小学生の成績を上げる目標設定はこれかもしれないし、あれかもしれないし。
--	--	--

湖南省図書館基本計画に対する意見等について

委員名

第1回の資料5-1の一般向けと5-2の中高生向けのアンケート案に関して、アンケートを回収してそれを対策としてどのように有効に活かせるのか、逆に具体的な対応策に立案するためには予めアンケート時点でどのような設問を含めておくべきか（それがないとその対策案が果たして有効か否かが解析、判断できるのか）という観点から、今回のアンケート案の個人的に意見を具申したいと存じます。場違いな勘違いからの意見も多々あるとは思いますが、もし採り入れる点があればご検討いただければとよろしくお願い致します。

(一) 5-1の一般向けおよび5-2の中高生向けのアンケートの対象者についての質問

- (1) 単なる質問ですが、5-2では湖南省内在住の4中学生と、どこの高校に通学かは問わず市内在住の高校生を、市全体として年齢別に無作為単純抽出で選んで、アンケート用紙を郵送して回収する方法ですか？その際は、それぞれの対象人数としては中学生何名と高校生何名の予定でしょうか？
- (2) 単純な抽出ではなく、4中学が同数になるように作為的な抽出でしょうか？そのような抽出のほうが後の解析の点で好ましいと考えます。もう一点、高校生は甲西高校と石部高校の在校生に絞るか、あるいは単に湖南省内在住者であればどこの高校かには絞らないかいずれでしょうか。どちらの方式であっ

ても問題ないのですが、属性の質問としてみ「市内の高校に通学」「市外の高校に通学」という設問を含めることに問題があるでしょうか？含めることにより例えば、自習、コーナーの希望、通学時間に伴う影響などの解析に役立つと考えられます。

- (3) 同じく単なる質問ですが、5-1 の一般向けアンケートは対象人数は何人（何通）の予定ですか？

(二) 資料 5-1 の一般向けのアンケートに関する質問と意見

- (1) 問 1.の選択肢「20 歳未満」に関する質問ですが、この一般向けアンケートは実施予定日あるいは例えば 4 月現在の 18 歳以上の母集団を無作為抽出しているの「18 歳以上 20 歳」及び「15 歳以上で高校進学していない」ということに該当するということでしょうか？
- (2) 回答者の属性のカテゴリーの設問として、問 2.のあとに、「買い物やその他の日常生活での移動手段（交通手段）として」、本人が車で利用、本人が自転車などで移動、家族と共に移動、親しい人と共に移動、徒歩のみ・・・・・・といった設問を含めることは難しいでしょうか？今回の図書館利用の根底となる属性の設問で、これにより多様な解析が可能となります。市役所の他のアンケートで似たような表現の設問はないでしょうか？
- (3) 問 3.の選択肢で複数回答可とはなっていますが、もっと結果の解析に活かすには、①甲西のみ、②石部のみ、③移動図書館のみ、④甲西と石部、⑤甲西と移

動、⑥石部と移動、⑥構成も石部も移動も、⑦市内いずれの館も利用したことがない、⑧湖南省以外の県内図書館、⑨滋賀県立図書館、⑩本は自分で買って読むので図書館には行かない 　としたほうが回答者も明確に回答できるし、現状の問題点がはっきりすると思います。図書館の本を当てにしない人、環境をいくら整えても図書館に足を向けない人の比率を知ることが必要です。また湖南省図書館は何らかの理由で使いづらいが、例えば守山市図書館や県立図書館を利用する方の比率を知ることができます。

- (4) 問 4.の【質問意図】で移動図書館の利用頻度の確認するためとありますが、肝心の設問には【移動図書館】が漏れていますので、ぜひ追加が必要です。ただし移動図書館は設問では定量的な尺度が 2 館とは少し異なるので選択肢は十分留意工夫が必要です。例えば「1 年に○～○回」「○～○回」「○～○回」などの利用頻度から選択するとともに、ステーション名をアンケート回答者に書かせるのではすべてのステーション名を列記した上でそこから選ばせる形式が必要です。

- (5) 問 5.で複数選択数が 2 つは少なすぎると思いますが、いかがでしょうか？上位 2 つに絞ってしまうとどうしても上位のありきたりの①、③などに偏って回答が固定化してしまい、今回のアンケートの目的である多様な隠れた利用目的が浮かび上がらないし、あるべき改善のヒントにつながらない。

- (6) 同じく問 5.の選択肢③はできれば本と、新聞と、雑誌のそれぞれ 3 つの選択肢に分けた方が、後の現状解析と対応につながる。もちろん本が多いに決まっ

ているが、新聞と雑誌も少ないながらもどれくらいの比率のニーズがあるかを
確認すべきです。特にこの項目は属性の年齢層と組み合わせた解析が重要。③
以外の選択肢も同様に年齢層の属性と組み合わせないと折角のアンケート結果
が活かせない。

(7) 同じく問 5.の選択肢⑤には () 付きの自由記載でどのようなイベント、講座
に参加したかを書いてもらえると今後の参考になる。私が思いつくのは読み聞
かせ、折り紙教室、ミニコンサートなどもあるし、個人的にはビブリオバトル
も取り上げて欲しい。

(8) 問 6.は私が思いつくものがほぼすべて網羅されており、よく工夫されている
と感じました。ただ経験豊かな島田先生のご意見を伺いたいと思います。

(9) 問 7.の設問で「利用したことがない方、またあまり利用していないと答えい
ただいた方」とあります。このアンケートをどのように活かすか解析する観点
から、私は問 7.を 2 つに分けて、問 7-1.としては利用したことのない方だけ
に利用しない理由を回答してもらい、同様の問 7-2 としては利用しているが、
利用しにくい理由を回答してもらう、二本立てにしてはいかがでしょうか。回
答する方の手間はどちらか 1 つだけなので同じだが、「図書館に来たことがな
い人を引き込む」と「来館回数が増え、貸出冊数が増えるチャンスとともに、
うかうかすると将来は来館しなくなるかもしれない」の両方の解析が必要で
す。

(10) 問 7.の【質問意図】を考慮すると、選択肢⑦「子どもが騒ぐと…かかると

思う」は「自分の子どもが…」と「他人の子どもが騒いで迷惑なので、自分は利用したくない」との別の選択肢に分けた方が、子育て世代の心理的ハードルのより解析になると思います。

- (11) 問 8.の選択肢①「親子向けの…充実」ですが、例えば例示を自由記載で追加提案してもらえるようにしては？「親子向けの…充実（例えば工作、親子講座、遊びの広場、ボードゲーム、折り紙教室、[自由記述で追記]_____」

- (12) 同じく問 8.の⑩、⑪の類似項目の追加選択肢として「子育てに関する講座・講演会の開催（託児コーナー付き）」を追加してはどうでしょうか

- (13) 問 9.の選択肢①の SNS 以外に「図書館職員によるブログ」の選択肢を追加することは可能か？甲賀市図書館も含めこれを行っている公共図書館多いです。職員に負担かかるのは忍びないですが。

- (14) 同じく問 9.の③も例示の自由記述付きで。「若者向けの…交流会（読書会、ボードゲーム会、ビブリオバトル、ビブリオトーク[自由記述で追記]_____）」

- (15) 同じく問 9.の選択肢⑦「ヤングアダルトの読み物の充実」と類似ですが「ヤングアダルトの将来の進路に役立つ本の充実」も追加したいです。近隣の甲賀市、野洲市、草津市、愛荘町立図書館、さらに先進の岐阜市メディアコスモスを見学しましたがヤングアダルトコーナーが充実していて、そこにはいろんな職業に就くための進路選択に役立つ本がコーナーに集められて手に取りや

すくなっていました。たぶん複本が配架されているのだと思いますが、ヤングアダルトの利用者にとってはそのコーナーへ行けば読みたい本、役立つ本がすぐに探せて見つかるという書架の一覧性が重要だと思います。

別の話ですが、また私の誤解があるかもしれませんが、湖南省図書館では長らく「コミック（漫画）」（ただし「名探偵コナン」と一部の「文学的な漫画」は例外）が購入選書基準から外れていたことがありました。今はどうなっているのでしょうか？

(16) 問 11.の⑥中の「レファレンスサービス」という用語は図書館の利用者の間でもあまり知られていない用語です。しかしこの選択肢は外せない重要なものなので、アンケートの設問に簡潔な説明の注釈を付けていただけませんか。

(17) 問 11.の⑨中の「SNS」は、問 9 の①の SNS の（ ）内の例示と同じですか？もしそれなら問 11.の⑨中でも同じ例示を追記したほうがよいと思います。

(18) 問 12.の①～④の中から「複数選択可」とのことですが、これは例えば②・③とか、①～③とか、①～④の組合せのことでしょうか？それと現行の湖南省市職員の就業規則内で、例えば開館 8 時からというのは特に問題なく変更可能なのでしょうか？開館 8 時なら職員の出勤時間はそれより前ですし、21 時閉館なら退出はそれより後になりますが、フレックス制度などで現行でも、あるいは軽微な運用変更で可能な選択肢ということでしょうか。県内の公立と書架では遅くとも 20 時までと私は把握していますが。

(19) 問 12.の⑫の「(現在閉館している)」というのは、甲西の(月)と(火)、石部の(水)と(木)のことなのか、さらに祝祭日、ハッピーマンデーなども含めてなのか、アンケート回答者にはわかりにくい。この際、「甲西図書館の(月)と(火)も開館して欲しい」、「石部図書館の(水)と(木)も開館して欲しい」、「祝祭日の閉館も開館して欲しい」、「甲西図書館の休館日を(月)と(火)に、石部図書館の休館日を(水)と(木)に変更して欲しい」にわかりやすく分けてはどうでしょうか。さらに他市でも行われている「特定の曜日のみは閉館時間を 20 時まで延長して欲しい」でも十分ニーズがあると思われる。

(20) 問 15.は複数回答可とした上で、②は「新聞を読める」と「雑誌を読める」に分けた方が解析が容易になります。さらに問 15.は図書館職員の意見でもっと選択肢が増やせないでしょうか？④のカフェは「(将来開設されるかもしれない) 併設された」カフェですね？そこまでではないがよりハードルが低い「飲み物の自販機がある、蓋つきの飲み物容器が持ち込める」、「館外のテラスで本を読める」などがわれわれの開催したワークショップで希望として挙がりました。

(21) 問 14.の①は「巡回場所を増やしてほしい」と「巡回回数を増やしてほしい」の 2 項目に分けた方が解析と対応が明確になる。

(22) そもそも問 13.と問 14 はその質問意図にあるように表裏の設問であることは理解しているのですが、問 14.の選択肢はやらないよりはやった方がまし、というレベルというか、移動図書館に頼りすぎという懸念が残ります。つま

り、このまま問 13 と問 14 でアンケートをやったとして、それでも「問 14.の優先上位を実施すれば移動図書館に関してのみの将来の満足度は上がるかもしれないが、湖南省図書館の満足度が上がる保証はアンケートで担保されていない」というのが私の考えです。このことは委員全員のご意見をぜひお聞きしたいです。酷な意見ですが、問 14 の後に「先の問 14 の移動図書館の役割と機能強化を実施すれば図書館全体の満足度の評価は今より上がりますか？」の設問を仮に追加したとしても、移動図書館のみの利用比率はそもそも高くないと思います。決して問 14.の設問が不要といっているのではなく、「移動図書館を全域サービスの中核と位置付ける」という【質問意図】のもとに、問 14.でいろんな意見が出たというアンケート結果の実績だけで、移動図書館で何とかするというストーリーには結びつかないと個人的には考えます。図書館の基本計画としては、甲西図書館と移動図書館以外に、石部図書館に代わる「図書機能を持たせた人的交流に注力したセンター」で補完させるのが、現在はまだ利用していない市民と若年層とを取り込むために必要というのが私個人的な意見で、その立案、解析のために役に立つアンケートの設問の文言修正と追加したいのです。

- (23) 最後になりますが、利用者にニーズを探る今回のアンケートとしての本来の目的は異なりますが、湖南省民、図書館利用者に対して図書館のアピール啓蒙目的で個人的に以下の 2 つの項目を、もし差し支えなければアンケートの最後におまけで含めてもらえたらと個人的には思っています（文面は不正確など

ころもあり、大幅な訂正が必要ですが)。さすがに②の方は図書館長も却下されるとは私も覚悟していますが。

- ① 湖南省図書館では、利用者の方が希望する本がその時点で当館に所蔵してなくても、近隣の図書館から借りたり、あるいは利用価値が高くて購入すべきと判断した場合は湖南省図書館として新規に購入するリクエスト制度があることをご存知ですか？

☐ はい、知っていて他市の図書館から借りてもらったことがある

☐ はい、知っていて購入してもらったことがある

☐ いいえ、知らなかった

☐ 知らなかったが、今度リクエストしてみたい

- ② 湖南省のふるさと納税制度では、返礼品を辞退する代わりにその寄附金の使途目的が設定でき、その選択肢には図書機能の充実も含まれていることをご存知でしたか？

☐ 知っていた

☐ 知らなかった

(三) 資料5-2 の中高生向けのアンケートに関する質問と意見

- (1) 個人情報の観点で難しいことはわかっていますが、冒頭の前記(一)で述べたのですが、属性として市内の高校か、市外の高校かの設問を含めることにより、他の設問の回答の解析を深めることができると考えます。
- (2) 問2.の⑩その他に自由記載になっているのは、湖南省以外に在住の中高生もアンケートに含めるということでしょうか？
- (3) 図書館の具体的な設問に入る前に、今の中学生と高校生の読書傾向をズバリ聞けるせっかくのチャンスなので、このアンケートで読書傾向を調査すべきです。それが図書館、教育関係者、学校司書が今最も知りたいが、残念ながら十分把握できていないことだと思います。
- 具体的には、①湖南省立図書館で借りた本とは限定せずに、1週間平均の読書時間(コミックも含める、電子図書も含める)、②知りたい情報を本とそれ以外のどのような情報源から得ているか、などです。設問の表現には十分な工夫が必要ですが、学校図書関係者の意見も聞いてふさわしい設問を期待しています。
- (4) 問3.には⑤湖南省立以外の他市町村の公立図書館、⑥県立図書館も含めるべきです。もしこれが一定数多いとなると今後改善すべき反省点があるということですね。あるいは必要なら、通学している中学・高校の学校図書館も含めるべきかもしれません。
- (5) 問5.の④で自由記載欄を設けて、どのようなイベント、講座を記載してもらえれば今後の大いに参考にできます。なお、やはり「2つ」までに制限するとありき

たりの①か②だけに集中し、副次的サービスのニーズはないという結果しか得られず、せっかくの今回のアンケートの目的にそぐわないと思います。

またこの設問の【移動図書館】はどこのステーションかを列記したステーション名から選択してもらえば、今後のステーションの重点化のデータに使えます。

(6)問 7.の③で個人的な希望ですが、例示のイベントの中にビブリオバトル、ビブリオトークを追加してもらえないでしょうか。

(7)問 7.の選択肢で、一般向けアンケートでの同様の問 6 と比較して追加すべきものがないか検討ください。例えば「居心地がよく、くつろげる場所」など。

(8)問 9.で設問分中の（例：…）の例示に対して、図書館側からもっと提案がないでしょうか？さらに、①はい の後ろの（ ）内で自由記載スペース設けてはアンケート回答者に受けたいサービスを提案してもらえばどうですか。

湖南省図書館基本計画に対する意見等について

委員名 _____

[illegible]

湖南市図書館基本計画に対する意見等について

委員名 _____

[illegible]

令和8年度第1回図書館協議会 議事録要約

- **計画案の抽象性への懸念：**委員からは、計画案の「グランドビジョン」や「基本方針」の表現が抽象的で、「非常に綺麗な言葉だが意味がわからない」「具体性に欠ける」といった意見が多数出た。特に「知と文化」「癒しが取り組みの居場所」「ウェルビーイングな図書館」といった言葉に対し、具体的なイメージが湧かないとの指摘があった。
- **図書館の基本的な役割の明記：**「人と本を繋ぐ」という図書館の基本的な役割を計画案に明記しないと、その信憑性が損なわれるとの懸念が示された。
- **グランドビジョンの具体化：**「コミュニティの拠点」という表現について、具体的な内容（お話会、映画会、講演会など）を明確にすべきとの意見が出た。
- **人材確保と司書の重要性：**
 - 館長が司書ではなく行政職との兼務であることに対し、常駐が難しい現状と、それが図書館運営に与える影響について質問があった。事務局からは、司書や副館長との情報共有により最大限カバーしているとの回答があった。
 - 「現状と課題」の項目が、利用時間・休館日を除き、ほとんどが人的問題、特に司書に関わる課題であると指摘された。
 - 朝日新聞の記事を引用し、図書館の原点や価値、そして「司書の配置が地域を力のあるものにする」という専門家の意見が紹介され、計画における人材、特に司書の確保の重要性が強調された。
- **協議会と策定委員会の関係性：**
 - 協議会委員から、策定委員会との関係性が見えにくいとの意見があり、協議会の意見が策定委員会にどのように反映されるのか、事務局の認識が問われた。
 - 事務局は、協議会の意見を議事録として整理し、策定委員会へ資料として提出する形で連携を進めると説明した。また、策定委員会が先に開催されたが、議論はまだ深まっていないため、協議会が後回しにされたわけではないと補足した。
 - 委員からは協議会と策定委員会について、風通しの良い連携を求める要望が出された。
- **石部図書館の将来：**石部図書館の存続に関する委員の懸念に対し、事務局は閉館か存続かの議論ではなく、「湖南市全体の読書環境として、どのような読書環境を整備し、図書館サービスを展開していくか」という視点で計画を進めていると説明。サービス内容が決まれば、施設の方向性も見えてくるとの見解を示した。
- **先進地研修と情報共有：**策定委員会の先進地研修に対し、委員は視察先への興味を示し、可能であれば同行、あるいは視察内容の共有を求めた。

湖南省図書館基本計画に関するアンケート調査 ご協力をお願い

【趣旨】

本市では、今後の図書館サービスのあり方や目指すべき方向性を定める「湖南省図書館基本計画」の策定に取り組んでおります。このアンケートは、市民の皆様の図書館のご利用状況や今後のご要望を把握し、より実効性のある計画を策定するためのものです。

ご回答の結果はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません（無記名につき個人が特定されることはありません）。

普段図書館をご利用にならない方のご意見も大変貴重な情報となります。ご多忙のところ恐縮ですが、アンケート調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【回答方法】

本アンケートは、以下のいずれかの方法でご回答いただけます。

(1) スマートフォン等から Web フォームで回答する

下の二次元コードを読み取ってアクセスし、画面の案内に従ってご入力ください。



回答可能期限 9月25日（金）まで

(2) 紙のアンケート用紙に記入して回答する

アンケート用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて9月25日（金）までに投函してください。

※いずれの方法でもご回答は1人1回まででお願いいたします。

※Web・紙ともに、個人が特定されることはありません。

【お問合せ先】

甲西図書館 担当 中村

電話 0748-72-5550 FAX 0748-72-5554

E-mail tosyokan@city.shiga-konan.lg.jp

開館時間 10:00～18:00

※月曜日、火曜日、月末木曜日は休館しております。

図書館基本計画策定に関するアンケート

問1. あなたの年代を教えてください。(一つだけお選びください)

- ① 19 歳（2027 年 3 月末時点）
② 20 歳代
③ 30 歳代
④ 40 歳代
⑤ 50 歳代
⑥ 60 歳代
⑦ 70 歳以上

問2. あなたのお住まいの地域を教えてください。(一つだけお選びください)

- ① 三雲東小学校校区
- ② 三雲小学校校区
- ③ 石部小学校校区
- ④ 石部南小学校校区
- ⑤ 岩根小学校校区
- ⑥ 菩提寺小学校校区
- ⑦ 菩提寺北小学校校区
- ⑧ 下田小学校校区
- ⑨ 水戸小学校校区
- ⑩ わからない

問3. 買い物やその他の日常生活で、あなたが主に利用している交通手段は何ですか？（一つだけお選びください）

- ① 徒歩
- ② 自転車・バイク
- ③ 自家用車
- ④ バス
- ⑤ その他（ ）

問 4. 過去 1 年以内に湖南省立図書館を利用したことがありますか？（主に利用したことがある図書館を一つだけお選びください）

問5. 問4で「利用したことがある」とお答えいただいた方にお伺いします。図書館をどのくらいの頻度で利用していますか？（一つだけお選びください）

問 6. 問 4 で「利用したことがある」とお答えいただいた方にお伺いします。図書館を主にどのような目的で利用していますか？（当てはまるものを3つまでお選びください）

問7. 問4で「利用したことがない」とお答えいただいた方にお伺いします。利用しない主な理由は何ですか？（当てはまるものを3つまでお選びください）

- ① ゆったりとくつろいで本を読む
- ② 子どもと一緒に気兼ねなく本を読む
- ③ 静かな空間で、調べものや勉強をする
- ④ 本や情報について、司書に相談ができる
- ⑤ パソコンを使って作業をする、またはWi-Fi環境でタブレットを使う
- ⑥ 湖南省の歴史や文化を知る、学ぶ
- ⑦ おはなし会や講演会などの催しものに参加する
- ⑧ 周りの人と話す、交流する
- ⑨ 読書などの合間に食事やおやつを食べる
- ⑩ 予約した本を自宅の近くで受け取る
- ⑪ 分からない
- ⑫ その他（ ）

- ① 絵本や児童書
- ② 読み物（小説やエッセイ等）
- ③ 実用書（暮らしや仕事などに役立つ本）
- ④ 学校の勉強に役立つ参考書
- ⑤ 専門書（調べものに役立つ本）
- ⑥ 湖南省に関する本
- ⑦ 外国語の本
- ⑧ 大活字本・点字図書・録音図書
- ⑨ 音楽 CD
- ⑩ 電子書籍やデジタルコンテンツ
- ⑪ 分からない
- ⑫ その他（ ）

- ① 様々な種類の本を借りることができる
- ② 借りた本を返すことができる
- ③ 新聞や雑誌を読める
- ④ 集中して学習ができる
- ⑤ カフェや自販機で購入した飲み物を飲みながら、本を読んだり勉強したりできる
- ⑥ 本・情報・資料などについて、司書に相談ができる

- ⑦ 移動図書館の巡回場所や回数が増え、より身近な場所で本を借りられる
- ⑧ 地域のイベント会場などに移動図書館が来て、その場で読書をしたりお話会に参加できる
- ⑨ 特に希望はない
- ⑩ わからない
- ⑪ その他（具体的に： ）

問 11. 図書館（甲西・石部の各館）の開館時間や開館曜日についてお選びください。

(1) 現在の開館時間や曜日の体制に満足していますか？（一つだけお選びください）

- ① 満足している（今のままでよい）
② あまり満足していない
③ 全く満足していない

(※①を選んだ方は、問 12 へお進みください)

(2) 上記で「あまり満足していない」「全く満足していない」とお答えいただいた方にお伺いします。どのような時間帯や曜日に開館していれば、図書館をもっと利用したいですか？（当てはまるものをすべてお選びください）

【利用したい時間帯】

- ① 平日の早朝（8時～10時）
- ② 平日の夜間（18時～21時）
- ③ 土日祝の早朝（8時～10時）
- ④ 土日祝の夜間（18時～21時）

【希望する開館日・休館日の見直し】

- ⑤ 現在閉館している曜日（甲西は月・火、石部は水・木）にも開館してほしい
- ⑥ 祝祭日にも開館してほしい
- ⑦ 特定の曜日だけでも、夜間（20 時や 21 時まで）に延長してほしい
- ⑧ その他（ ）

自由記述

問 12. その他、湖南省の図書館サービスに関して、ご意見やご提案、期待することなどがあれば自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。

中学生・高校生アンケート案

問1. あなたの学年を教えてください。(一つだけ選んでください)

- ① 中学1年生
- ② 中学2年生
- ③ 中学3年生
- ④ 高校1年生
- ⑤ 高校2年生
- ⑥ 高校3年生

問2. あなたが住んでいる地域を教えてください。(一つだけ選んでください)

- ① 三雲東小学校区
- ② 三雲小学校区
- ③ 石部小学校区
- ④ 石部南小学校区
- ⑤ 岩根小学校区
- ⑥ 菩提寺小学校区
- ⑦ 菩提寺北小学校区
- ⑧ 下田小学校区
- ⑨ 水戸小学校区
- ⑩ その他(例:〇〇市、〇〇町など自由にご記入ください)

問3. 過去1年以内に湖南省立図書館(甲西図書館・石部図書館・移動図書館)を利用したことがありますか?(主に利用したことがある図書館を一つだけ選んでください)

- ① 甲西図書館を利用したことがある
- ② 石部図書館を利用したことがある
- ③ 移動図書館を利用したことがある
- ④ 市内の図書館は利用したことがないが、湖南省以外の図書館は利用したことがある
- ⑤ 図書館を利用したことがない

(※⑤を選んだ方は、問6へ進んでください)

問4. 問3で「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。図書館をどれくらいのペース(回数)で利用していますか?(一つだけ選んでください)

- ① ほぼ毎日
- ② 週に1回程度
- ③ 2週間に1回程度

問 8. 図書館で充実してほしい資料やコンテンツ（当てはまるものを3つまで選んでください）

- ① 読み物（小説やエッセイ等）
- ② 学校の勉強に役立つ参考書
- ③ 専門書（調べものに役立つ本）
- ④ 湖南省に関する本
- ⑤ 外国語の本
- ⑥ 音楽 CD
- ⑦ 電子書籍やデジタルコンテンツ
- ⑧ 分からない
- ⑨ その他（ ）

問9. 図書館の場所や開いている時間について、希望はありますか？

- ① もっと学校や家から近い場所にあってほしい
- ② 夜や休みも開いていると便利
- ③ 今の場所や時間で十分だと思う
- ④ その他（具体的に： ）

問 10. スマホやパソコンを使って図書館のサービスを受けたいですか？（例：本の予約、オンラインでの勉強会など）

- ① はい
② いいえ
③ どちらとも言えない

問 11. 図書館で「こんなことをしてみたい。」と思うことがあれば教えてください。自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました！あなたの意見を元に、みんなが使いやすい図書館を目指します。

令和8年（2026年）7月2日

湖南省図書館基本計画策定委員会
会長 嶋田 学 様

湖南省教育委員会
教育長 法山由紀子

湖南省図書館基本計画の策定について（諮問）

このことについて、湖南省図書館基本計画策定委員会設置条例第2条の規定に基づき、下記の事項について貴委員会に諮問します。

記

1 諮問事項

湖南省図書館基本計画の策定について

2 諮問の趣旨

本市の図書館は、「暮らしの中に図書館を」を掲げ、市民の学びや読書、情報利用を支える重要な生涯学習施設として運営してきました。一方で、少子高齢化による人口構造の変化やデジタル化の進展、公共施設の更新需要への対応など、図書館を取り巻く環境は大きく変化しています。

現在、市内には2館の図書館がありますが、施設の老朽化や運営の効率、サービスの充実等を総合的に見直す必要があります。特に、将来にわたり持続可能で魅力ある図書館サービスを提供するためには、施設配置のあり方を含めた中長期的な視点での検討が求められています。

本計画では、「暮らしの中に図書館を～人と知と文化が交わる場へ～誰もが集うみんなの図書館」をコンセプトに、日常の暮らしの一部として、一人ひとりのウェルビーイングを叶えるため、誰もが自然に足を運べる場としての図書館の将来像を描くことを目指しております。

このため、市民の多様なニーズと地域資源を踏まえつつ、多角的で実効性のある意見を賜りたくお願いいたします。

3 審議の進め方及び工程

今後、専門的な調査と市民意見の収集を進めた上で、平成9年3月までに答申をお願いする予定です。

- ・必要に応じて、審議会開催日程や資料提供について事務局より連絡いたします。

視察先候補

- 人口：73,080人
- 面積：552.54km²
- 福知山駅のすぐ近くにあり、200席以上ある閲覧席の一部からは、電車や駅前公園の景色を眺めながら読書を楽しめる。
- 先進的な自動化設備
- 子育て世代・子どもに優しい1階
- 全国トップクラスの「電子図書館」

福知山市立図書館
中央館

- 人口：70,818人
- 面積：74.90km²
- 子ども向けのユニークな読書空間や全国的に珍しい独自の蔵書、学校との強い連携に特徴がある、幼児から高齢者まで気軽に利用できる施設
- 子ども読書空間「ブックキャンプ」
- ユニークな蔵書と地域連携

犬山市立図書館

- 人口：107,016人
- 面積：681.02km²
- 複合施設への移転によるきれいな設備や、テーマ別の分かりやすい本棚、地域に根差した充実したサービスが特徴
- 探しやすい: 知識の本だけでなく、生活や趣味に合わせた「テーマの本棚」があり本が見つけやすい

長浜市立長浜図書館